

クマに遭遇したときの行動マニュアル

はじめに

登山やキャンプ、山里での散策中にクマと遭遇することがあります。このマニュアルは、クマとの遭遇時に落ち着いて適切に行動し、被害を最小限に抑えるための基本的な行動指針をまとめたものです。

1. 基本原則

- ・慌てない、走らない。
- ・クマに背を向けず、ゆっくりと後退する。
- ・視線を直接合わせない。
- ・クマに自分が「人間」であることを知らせる。

2. 状況別の対応

(1) 遠くにクマが見える場合

- ・静かに立ち止まり、クマとの距離を確認する。
- ・風下にいる場合は匂いで気づかれる可能性があるため、静かに後退する。
- ・大声を出したり、石を投げたりして刺激しない。

(2) 近距離でクマに気づかれた場合

- ・クマが興奮していなければ、落ち着いた低い声で「おーい」「人間だよ」などと話しかける。
- ・ゆっくりと後ずさりし、距離を取る。
- ・走って逃げない（追われる危険がある）。

(3) クマがこちらに近づいてくる場合

- ・腕を大きく広げて自分を大きく見せ、威嚇の姿勢をとる。

- ・熊撃退スプレーを持っている場合は構えておく（噴射距離は5～8m程度）。
- ・背中を見せずにゆっくり後退。

（４）クマが襲ってきた場合（最終手段）

- ・逃げられないと判断した場合は、うつ伏せになり頭を抱えて首の後ろを守る。
- ・背中中のリュックを盾にして身を守る。
- ・クマが去った後もしばらく動かず、完全に安全を確認してから行動する。

3. 遭遇を防ぐための予防策

- ・熊鈴をつけて行動する。
- ・食べ物やごみを放置しない。
- ・夕方～早朝の時間帯は特に注意する。
- ・クマの糞や足跡を見つけたら、その場を離れる。

4. 緊急時の連絡

- ・クマを目撃した、または遭遇した場合は、安全を確保した上で、地元の警察署、役所、または市町村の鳥獣担当課へ通報する。

5. まとめ

クマに遭遇したときは、恐怖から思わず走ってしまいがちですが、「落ち着く」「刺激しない」「ゆっくり離れる」ことが最も重要です。日頃から備えと心構えを持って行動しましょう。